

【視覚障がしい】

石狩管内

北海道札幌視覚支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒064-8629 札幌市中央区南14条西12丁目1-1
- 問 合 せ 先 TEL 011-561-7107
FAX 011-561-2423
E-mail sapporoshikaku-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sapporoshikaku.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 基本理念

「視覚障がい教育の専門性を発揮し、教育機能、理療機能、支援機能を推進する学校」

□ 学校教育目標

「将来に向かって」

- 意欲的に学び、考える人
- 心を豊かに伝え合い、思いやりのある人
- 健康で、たくましく活動する人

□ 概 要

北海道札幌視覚支援学校は札幌市中央区の山鼻地区に、平成27年に開校しました。

幼稚部、小学部、中学部、そして高等部が一つの校舎に集い、視覚に障がいのある幼児から大人まで、様々な年代の生徒が共に学んでいます。

本校の大きな役割は、視覚に障がいがあることによる学習上または生活上の困難を克服し、自立し社会参加する力を育むことです。本校は、北海道内で唯一視覚障がいのある生徒を対象とした高等部を設置する学校です。



■特色ある教育活動

高等部普通科の教育目標

障がいによる困難を主体的に改善し、責任ある社会人として必要な知識・技能とたくましく生きる力をもつ次のような生徒を育てる

- 将来を見据え、自ら学び、考え、表現できる生徒
- 自他を尊重できる生徒
- 健康と安全を管理し、心身を鍛えることができる生徒

視覚障がいと言っても、全く光が見えない全盲から、視力の低い弱視まで、見え方の状態は様々です。弱視であっても中心が見えにくい、視野が狭い、まぶしさが苦手、暗いと見えにくいなど、一人一人の見え方が異なります。そのため、一人一人の見え方の状態に合わせた最適な学習環境が整えられています。

【 ICT機器の活用 】

高等部普通科では、校内Wi-Fiネットワークが整備されており、タブレット端末を活用した学習に取り組んでいます。学校には最新の点字ディスプレイや拡大読書器、音声読み上げソフトを搭載したパソコンなど、視覚障がいに応じたICT機器が充実しています。

【 安心・安全な教育環境 】

校内を安全に移動するための誘導ブロックや見やすい教室表示、明るさを調節できる教室照明、遮光カーテン等、見えない、見えにくい生徒が安心・安全に過ごせる教育環境を整備しています。

【 視覚障がいに適した学習内容・方法 】

個々の生徒の実態に応じて、「聴くこと」「触ること」「保有視覚を活用すること」を生かした教材・教具で学習に取り組みます。

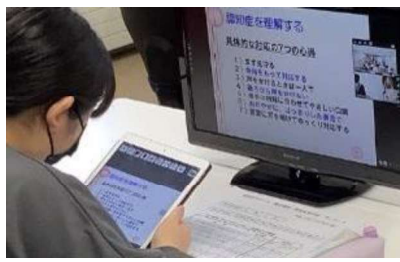
【 視覚障がい者スポーツの取組 】

フロアバレーボールやサウンドテーブルテニスといったスポーツに熱中する生徒も多く、全国大会やパラリンピックで活躍する選手も輩出しています。

※特別支援学校高等部や高等学校を卒業した方を対象とした専攻科を設置し、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得に向けた学習をします。(理療科、保健理療科)



普通科：点字や拡大文字による教科学習



普通科：ICTを活用した学習



重複障がい学級：作業学習



普通科：単独歩行に向けた学習



専攻科：あん摩施術の学習



普通科：ゴールボールの学習

■普通科第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	地理総合	現代の国語	論理表現	音楽	現代の国語
2	英語C○	生物基礎	公共	数学I	体育
3	言語文化	数学A	数学I	英語C○	公共
4	数学I	英語C○	体育	地理総合	数学A
5	音楽	家庭総合	自立活動	体育	生物基礎
6	体育	家庭総合	言語文化	LHR	論理表現

※英語C○：英語コミュニケーション

【重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動	社会	自立活動	自立活動	自立活動
2	体育	職業	体育	職業	数学
3			情報		国語
4			音楽		理科
5	数学	自立活動	美術	道徳	美術
6	国語	英語		LHR	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施
登校時間 8:40（月～金） 下校時間 15:25（月～金）

■教育課程の特徴

高等部普通科には、高等学校に準ずる学習を行う普通学級と、卒業後の就労や日常生活の学習を行う重複障がい学級があります。普通学級と重複障がい学級は、学校行事や生徒会活動、部活動等で生徒と一緒に協力して活動しています。

□普通学級

高等学校と同じ内容の教科書（拡大版、デジタル版、点字版、音声版）を使用して学習します。一人ひとりの習熟度に応じた丁寧な授業を行い、進学希望者には、模試や講習等を実施します。これまでも多くの卒業生が国立大学や私立大学へ進学し、自分の夢を叶えています。

□重複障がい学級

視覚の障がいに加えて、知的障がいなどの障がいを併せ有する生徒たちが、それぞれのペースで学んでいます。一人ひとりに合わせたオーダーメイドの教育が行われています。この学級では、身の回りのことを自分で行うための「日常生活の指導」や、将来の生活を見据えた「作業学習」などを通して、働く喜びや達成感を味わうことができます。作業学習では、紙すき、革細工、お菓子作りなどに取り組み、カレンダー、ポストカード、ネームフォルダなどの製品を、学校祭などで販売しています。

卒業後を見据えた実習では、「学校近隣での実習」「居住地での実習」「就労を前提とした実習」を行っています。

■卒業後の主な進路先について（過去の実績）

- 進 学 ～【筑波技術大学、大妻女子大学、北星学園大学、本校専攻科理療科、本校専攻科保健療科】
【札幌ビジュアルアーツ専門学校、札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校】
- 一般就労 ～【生活協同組合コープさっぽろ】
- 福祉的就労 ～【就労移行支援 キャリアエスコート】
【就労継続支援A型事業所 北海道光生舎フロンティア、生活介護事業所 プランチ】

学校Webページ

